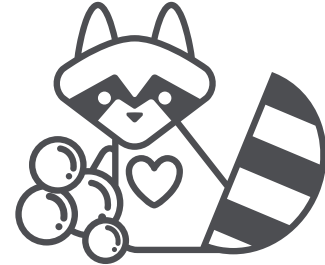


ALLY TEACHER'S TOOL KIT




多様な性ってなんだろう？
＜先生用ハンドブック＞



本ハンドブックを権利者に無断で複製、改変、公開、販売、レンタルすることを一切禁止します。

Designer: Ayumi Akasaka
copyrights © 2017 ReBit. All rights reserved

Presented by  ReBit

はじめに

このハンドブックをお手に取ってくださり、ありがとうございます。
同性愛の人や性同一性障害の人など、セクシュアルマイノリティの人は約5~8%、40人クラスであれば2~3人くらいいると考えられます。でも、周りに言えなくて、ひとりで抱え込む子どもも少なくありません。

2015年4月、文部科学省がセクシュアルマイノリティの子どもへ配慮を求める通知を全国の小中高校などへ出されました。

先生の学校にもきつというセクシュアルマイノリティの子どもたちについて知ってほしい。その思いから、かつて中学生だった若者たちがこのハンドブックをつくりました。

今こうしてこのハンドブックを手にとってくださっているあなたが、セクシュアルマイノリティの子どもにとっても過ごしやすい学校をつくる「アライ先生」のお一人となっていたら幸いです。

特定非営利活動法人ReBit



内容に入る前に、少しエクササイズをしてみたいと思います。
こちらの写真をご覧ください。



ここに6人の中学生がいます。
それでは突然ですが、この6人のうち、セクシュアルマイノリティの子どもは何人いるかわかりますか？
1人でしょうか。2人でしょうか。3人でしょうか。
少し考えてみてください。

(答えは次のページ)



なぜ、中学校で取り組む必要があるの？

答えは・・・全員です。

予想通りだったでしょうか。それとも、予想よりも多かったでしょうか。性別やセクシュアリティ(性のあり方)は、「見た目でわかる」と思われがちですが、実は見た目だけではわかりません。

だからこそ、本当は出会っているのに気づかない。学校やクラスに“いないこと”とされてしまうこともあります。

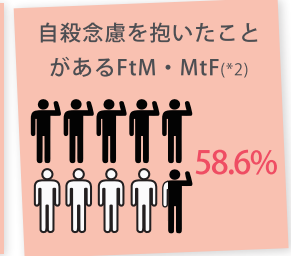
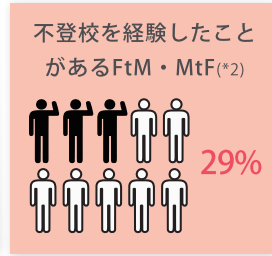
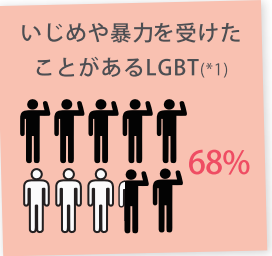
先生、あの頃は言えなかったけど、小学校から自分のこと男の子だと思っていて、今は男性として生活をしています。中学校では学級委員だったし、“明るい女の子”を演じていたけど、実は毎晩布団の中で泣いていました。本当は先生に相談したかったです。(やっくん・20代・FtMトランスジェンダー)



中学のときに友達から「おまえホモかよ」って笑われることが増えました。自分に嘘をつきたくなかったから一緒に笑ってごまかしていたけど、自分のことを笑うのはしんどかったです。(そうし・20代・ゲイ)



家庭科の授業で、先生が「こういう相手なら結婚したいと思う条件を書いてみて」とアンケートをとって結果を黒板に書き出した際、「異性」という回答がありました。「当たり前じゃーん」というヤジに対して、先生が「異性が当たり前って言ったけど、世の中には同性をパートナーに選ぶ人もいるからね」と言ってくれて、わかってきている大人がいるんだと感動しました。(あいこ・20代・レズビアン)



特に自殺念慮を抱く第一ピークは思春期である中学生の頃とされています。また、政府の「自殺総合対策大綱」にも「自殺念慮の割合等が高いことが指摘されている性的マイノリティについて、無理解や偏見等がその背景にある社会的要因の一つであると捉えて、教職員の理解を促進する」と示されています。

中学生ってどんな時期？

セクシュアルマイノリティの人たちが自分のセクシュアリティを自覚するのは、小学生から高校生までの学齢期が多いとされています。

- ゲイであることをなんとなく自覚した年齢：平均13.1歳(*3)
- 性同一性障害の人が性別違和感を自覚し始めた時期
小学校入学前まで：56.6% 中学生まで：89.7%(*2)

セクシュアルマイノリティは約5～8%とされていますが、性の多様性について考えていくことはその約5～8%の子どものためだけではありません。

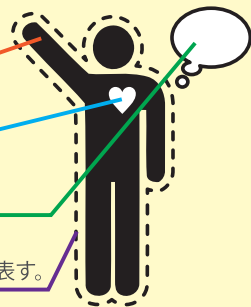
心と体に著しく変化が訪れる思春期という自己形成の時期だからこそ、セクシュアルマイノリティの子どもも、セクシュアルマジョリティの子どもも、あらためて自分自身について見つめ直し、生涯を通じて自らの心身の健康について考えられる一人ひとりであれたらと願います。

(*1) いのちリスペクト、ホワイトリボン・キャンペーン 平成25年度東京都地域自殺対策緊急強化補助事業「LGBTの学校生活に関する実態調査(2013)」
 (*2) 中塚幹也(2010)「学校保健における性同一性障害：学校と医療の連携」『日本医事新報』4521:60-64
 (*3) 日高麻晴ほか(2007)：厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究推進事業「ゲイ・バイセクシュアル男性の健康レポート2」

セクシュアリティって？

セクシュアリティは、「性のあり方」。4つの軸で考えることができます。

- からだの性 (生物学的性) :
性染色体、内外性器の状態等の性別を表す。
- ところの性 (性自認・性同一性) :
どの性別にアイデンティティをもつかを表す。
- 好きになる性 (性的指向) :
どの性別を恋愛の対象とするかを表す。
- 表現する性 (性表現) :
服装や行動、振る舞いなどからみる"社会的な性別"を表す。



*好きになる性 (Sexual Orientation) とところの性 (Gender Identity) をあわせた言葉「SOGI」も広く知られてきており、国連等で使われています。

いろいろなセクシュアリティの人に会ってみよう！

レズビアン
(女性同性愛者) ところの性が女性で、女性を好きになる人。



ゲイ
(男性同性愛者) ところの性が男性で、男性を好きになる人。



バイセクシュアル
(両性愛者) ところの性がどうであるかにかかわらず、男性も女性も好きになる人。



トランスジェンダー 生まれたときのからだの性をもとに割り当てられた性と、ところの性が異なる人

FtM (Female to Male) : 生まれたときのからだの性は女性で、ところの性は男性の人
MtF (Male to Female) : 生まれたときのからだの性は男性で、ところの性は女性の人
Xジェンダー : からだの性がどうであるかにかかわらず、ところの性が男女どちらでもある人、どちらでもない人、男女の間の人など



*ほかに、いかなる他者も恋愛や性愛の対象とならない「アセクシュアル(エイセクシュアル)」の人や、セクシュアリティをあえて決めない、または決められない「クエスチョニング」の人など、セクシュアリティは多様にあります。

*このような、性のあり方が少数派の人たちのことを「セクシュアルマイノリティ」といいます。レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を合わせて「LGBT」ということもあります。

*「性同一性障害」は、性別に違和感を持つ人や性別移行を望む人たちなどにあてられる医学的な診断名です。詳しくはp13をご覧ください。

オカマ、ホモ、レズ、オナベは差別的な用語とされています。

セクシュアルマイノリティってどれくらいいるの？

約5~8%がセクシュアルマイノリティであると言われています^(*4)。40人クラスであれば約2~3人はセクシュアルマイノリティの子どもがいると考えられます。通常の学級に通う子どものうち、発達障害の可能性のある子どもは約6.5%と言われていることから^(*5)、決して少なくないマイノリティですね。

(*4) 諸外国の調査ではLGBTは概ね2-5%程度などと推定されている。(釜野さおり・石田仁・風間孝・吉仲崇・河口和也 (2015) ; 性的マイノリティについての意識調査2015年全国調査報告書, 207ページ)
国内の調査ではLGBTは7.6% (平成27年 電通ダイバーシティラボ) や、8% (平成28年 LGBT総合研究所) といった結果がある。
(*5) 文部科学省「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」(2012)

よくあるQ&A

Q 同性愛って病気ですか？

A 病気ではありません。1990年の世界保健機構(WHO)の見直しを受け、日本でも同性愛はいかなる意味でも治療の対象とならないことが1994年に宣言されました。現在は、アイデンティティの1つとして捉えられています。

Q セクシュアルマイノリティの子どもに会ったことがないのですが？

A セクシュアリティは見た目だけで第三者が判断することはできません。厚生労働省の委託事業でもある「よりそいホットライン」のセクシュアルマイノリティに関する電話相談には年間平均50万件の電話があり、受話件数の約半数が10～20代です(*6)。「見えないからいない」のではなく、周囲から認識されていないことで困ったり、悩みが解決できなかつたりすることがあります。

Q 教育現場で取り扱うべきですか？

A 2015年4月30日、文部科学省から「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施等について」という通知が出され、学校でセクシュアルマイノリティの子どもへの支援や、理解向上に努める必要性が明記されました。
(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/27/04/1357468.htm)

(*6) 「平成24-26年度よりそいホットライン報告書」より

マジョリティにも名前がついています

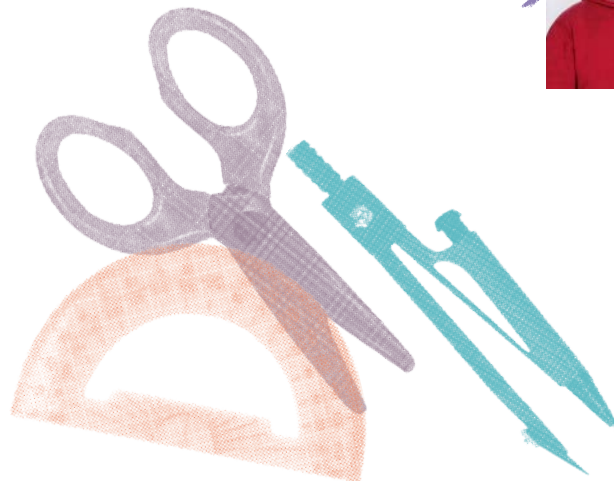
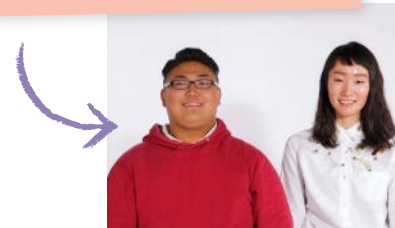
セクシュアルマジョリティにも名前がついていること、知っていましたか？「異性を好きになる」かつ「性別に違和感がない」という人にもちゃんと名前がついていて、多様な性のうちの1つです。

ヘテロセクシュアル
(異性愛者)

こころの性が女性で、男性を好きになる人。
こころの性が男性で、女性を好きになる人。

シスジェンダー

生まれたときのからだの性をもとに割り当てられた性と、こころの性が同じ人。



セクシュアルマイノリティの子どもが困りやすいことって？

“いないこと”になっていること

◆どの子どもも性別に違和感がなく、異性が好きであることが前提であると、困りやすい子どもがいます。



事あるごとに男子全体に向けて「女の子のことばかり考えてたらアカンで～」と言う先生がおり、何気ない気持ちで言っていたのだろうけど、異性が恋愛対象ということが前提になっていたことがつらかった。
(すばる・20代・男性同性愛者)

男女でわかれること

◆特にトランスジェンダーの子どもは、トイレ、制服、修学旅行の部屋/風呂、部活、健康診断など、男女でわかれることで困りやすいです。

制服のスカートが嫌で、学校に着くとジャージに着替えていた。反抗という意味ではなく、とにかくスカートが嫌だったからだけ、頭ごなしに怒られて辛かった。
(カツオ・20代・FtMトランスジェンダー)



笑いやいじめの対象になっていること

◆セクシュアルマイノリティが笑いやいじめの対象となっていたらはいは、他の人権課題と同様に注意や対応をしてください。

中学のとき、手帳に「今日は〇〇と話せてうれしかった」と好きな女の子について書いてあるのを、他の女子にみられて「こいつレズだ」といわれ、クラス内の女子の噂になってしまい、女子更衣室に入れてもらえなくなった。(あいこ・20代・レズビアン)

正しい知識にアクセスできないこと

◆教職員や保護者に正しい知識を教えてもらえない場合、「自分はおかしいのかな」と不安を感じる子どもがいます。

テレビの中でも学校でも男性が好きな男性は笑われる対象だったり、きもいと言われる対象だったから、自分のことを気持ち悪い存在だと思っていた。(かん・20代・ゲイ)



自分の生きていく姿が思い描きにくいこと

◆セクシュアルマイノリティの大人の姿が見えづらいことで、将来への不安が生じやすい子どもがいます。

セクシュアルマイノリティの大人に会ったことがなかったから、仕事をしたり、かぞくをもったり、友人関係を築いたり、「普通に」大人になって「普通に、幸せに」生活している姿をイメージできなかった。将来に対する不安がいつもあって、進路を決めるときも「進学しても大人にならないならどうせ意味ないし」と投げやりな気持ちになり、勉強に身が入らなかった。
(じゅん・20代・FtXトランスジェンダー)



困りごとを相談できないこと

◆周りの人に相談できないと感じたり、相談をしても否定される場合があります。

女子の制服から男子の制服に変えたいと学年主任の先生に話をしたとき、「勘違いなんじゃない？そういう“趣味”でルール違反しないで」と否定的な対応を受けた。
(ひかる・20代・FtMトランスジェンダー)

相談されたとき、どうしたらいい？

相談されたときの3ステップ

1. 聴く

初めて人に話すという子も少なくありません。安心して話せる環境をつくり、傾聴してください。また、「話してくれてありがとう」を伝えるなど、その子が今後も安心して相談できるような声かけをしてください。

2. いっしょに考える

困りごとがある場合も、その内容は一人ひとり異なります。困りごとや求める対応についてきき、できる対応を考えてください。希望の実現が難しい場合は気持ちを受け止めた上で、共に代替案を考えてください。

3. つなげる

相談機関や自助団体、書籍・DVDなど、必要に応じて伝えてください。相談機関は、先生自身も匿名性を守りながら利用することができます。(p14参照)

2つの「ナイ」

1. 決めつけない

自分のセクシュアリティを決められるのは、自分だけです。「思い過ごしじゃないか?」「いつか“治る”よ」など、本人のセクシュアリティを否定したり、「だったらレズビアンじゃないの?」など、決定を促したりしないでください。セクシュアリティは迷ったり、決めないでいたり、いつ変わってもいいのです。なにかにあてはめようとせず、その子をそのままに受け止めてください。

2. 広めない（勝手に共有しない）

セクシュアリティが意図せず他の先生や、保護者、生徒に伝わることで学校・家庭・地域で安全に過ごせなくなる場合があります。生命の危険等、緊急性の高い場合を除き、情報共有が必要な場合は、共有して良い範囲を本人に確認し、了承を得ることが望ましいです。

今日からできること

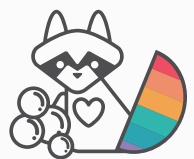
困りごとを“解決”していただけることも大切ですが、まずは、相談できる人がひとりでもいることが大切です。これからも“相談しやすい先生”であり続けていただけたらと願います。

Check!

- セクシュアルマイノリティに関する本や資料などを、保健室・図書室・教室などに置く
- 学級通信や保健だよりなどで、セクシュアルマイノリティについて書く
- セクシュアルマイノリティのニュースや話題を、子どもたちに肯定的に伝える
- 授業でセクシュアルマイノリティや多様な性について取り上げる (P14参照)
- 「男だから○○」「女だから○○」という言い方や見方をせず、個のその子を見る
- 「いつかは結婚するんだから」「親になったら」など、みんなが結婚や子育てをすることを前提とせず、人生設計は多様でいいことを伝える
- 性的マイノリティが笑いのネタにされていたら、他の人権課題と同様に注意する
- 「彼氏/彼女」ではなく、「パートナー」など、性別を限定しない言葉を使う
- 教職員や保護者が多様な性について知る機会を作る。
- 6色のレインボーアイテムを身につけたり、置いたりする
* 赤・橙・黄・緑・青・紫の6色の虹はセクシュアルマイノリティに理解があることの国際的な象徴とされています。

アライ(Ally)とは？

「理解者・同盟」を指す英単語「Alliance(アライアンス)」から来ている言葉で、LGBTのことを知っているよ!味方だよ!と思う人のことをいいます。



セクシュアルマイノリティの子どもにとっても過ごしやすい学校づくりをしてくださる「アライ先生」であってください。

性同一性障害とは？

性同一性障害とは、自らの性に持続的な違和感を持ち、異性のアイデンティティをもつため、時にはからだの性をこころの性に近づけるために医学的治療を望むことさえある状態を指す医学的な疾患名です。

性同一性障害であると診断されることで、こころの性からだの性を近づけるための医学療法（治療）や、戸籍上の名や性別を変えることができます。現在、「性別違和」という診断名が使用されることもあります。

Q.性同一性障害はどのように診断されますか？

性同一性障害の診断は専門の医療機関（ジェンダークリニック等）で行われます。半年から1年程度、専門医での診察を受けた上で、性同一性障害と診断されれば、診断書をもらうこともできます。

Q.性同一性障害の診断書がない場合、教育現場で対応をしなくて良いですか？

特に中学生の場合は、地域に専門医がなく通院できなかつたり、通院をしても診断に慎重を期すため診断書発行までに時間を有することが想定されます。文部科学省の『性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について』にも「医療機関を受診して性同一性障害の診断がなされない場合であっても、児童生徒の悩みや不安に寄り添い支援していく観点から、医療機関との相談の状況、児童生徒や保護者の意向等を踏まえつつ、支援を行うことは可能である」と示されており、性同一性障害の診断の有無にかかわらず教育現場での対応・配慮を行ってください。

Q.性同一性障害と診断された場合、中学生ではどのような治療ができますか？

一時的に二次性徴の発現を抑制する治療を受けることができます。からだの性を望む性に変化させる治療として、異性化ホルモン療法も条件付で15歳から可能です。

しかし、これらの治療はジェンダークリニックでの慎重な判断が必要であり、また、慎重に本人の意思に基づいて決定されるべきことです。診断や治療を無理に勧めることはせず、本人の意思を尊重することが大切です。

資料集

相談したい

よりそいホットライン（24時間無料電話相談） / 0120-279-338

（4番：セクシュアルマイノリティ専門回線）

もっと知りたい

<先生向け 書籍>

- LGBTってなんだろう？ —からだの性・こころの性・好きになる性—
- 先生と親のためのLGBTガイド
—もしあなたがカミングアウトされたなら—

<中学生向け 書籍>

- NHK「ハートをつなごう」LGBT BOOK
- LGBTなんでも聞いてみよう —中・高生が知りたいホントのところ—
- いろいろな性、いろいろな生きかた
- カミングアウト・レターズ ●ボクの彼氏はどこにいる？
- ダブルハピネス

授業で教えたい

中学生に向けた、セクシュアルマイノリティについての映像教材や学習指導案等が、以下URLから無料でダウンロードできます。

<http://rebitlgbt.org/project/kyozai>

<製作者>

特定非営利活動法人ReBit（リビット）

LGBTを含めた全ての子どもがおりのまま大人になれる社会を目指すNPO法人。教育機関/行政/企業等での研修・出張授業や、教材作成等を行なう。

ホームページ：<http://rebitlgbt.org> メールアドレス：info@rebitlgbt.org

* 小学校での授業の様子が映像で取り上げられています。 <http://news.yahoo.co.jp/feature/162>

* 本ハンドブックは以下からダウンロードできます。 <http://rebitlgbt.org/project/kyozai>